

6月26日

開 会

〈準備委員長報告〉

佐藤 博樹（東京大学社会科学研究所教授）

自由論題セッション

○Aグループ

〈座 長〉

中村 圭介（東京大学社会科学研究所教授）

〈報告者〉

- (1) 西村 純（社団法人関西国際産業関係研究所専任研究員）「スウェーデンの労使関係——企業レベルの賃金交渉の分析から」
- (2) 陳 浩（立命館大学国際関係研究科博士後期課程）「労働協約の分散化によるドイツ型労使交渉の行方」
- (3) 田中 洋子（筑波大学大学院人文社会科学研究所教授）「ドイツにおけるワーク・ライフ・バランスと非典型雇用」
- (4) 高村 静（内閣府男女共同参画分析官）「企業のワーク・ライフ・バランス施策は「新たな報酬」か？——ワーク・ライフ・バランス満足と企業への帰属意識の関係からの考察」

○Bグループ

〈座 長〉

大内 伸哉（神戸大学大学院法学研究科教授）

〈報告者〉

- (1) 坂井 岳夫（同志社大学法学部法律学科助教）「労働契約の規制手法としての任意法規の意義と可能性——“default rules”をめぐる学際的研究からの示唆」
- (2) 成田 史子（東京大学大学院法学政治学研究科博士課程）「企業組織再編における労働関係の移転——ドイツ組織再編法および民法典613a条における労働関係移転の検討」
- (3) 朴 孝 淑（東京大学大学院法学政治学研究科博士課程）「韓国における就業規則による賃金の不利益変更の問題」
- (4) 大沢真知子（日本女子大学人間社会学部現代

社会学科教授）／金 明 中（ニッセイ基礎研究所生活研究部門研究員）「経済のグローバル化が日韓の労働者にもたらす影響の総合的研究——労働力の非正規化と家族の変化が所得に与える影響について」

○Cグループ

〈座 長〉

佐野 嘉秀（法政大学経営学部准教授）

〈報告者〉

- (1) 馬 欣欣（慶應義塾大学先導研究センター研究員）「長時間労働は日本雇用者の仕事満足度を低下させるか——正規雇用者と非正規雇用者の比較」
- (2) 藤波 美帆（高齢・障害者雇用支援機構常勤嘱託調査研究員）／大木 栄一（職業能力開発総合大学校准教授）「嘱託（再雇用者）社員の人事管理の特質と課題——60歳代前半層を中心に」
- (3) 田中 秀樹（同志社大学大学院総合政策科学研究科博士後期課程）「技術部門における仕事管理——戦略的人的資源管理の視点を踏まえて」
- (4) 長田 美絵（法政大学大学院経営学研究科研究生キャリアデザイン学専攻）「営業支援職の組織内キャリア形成——コンサルティング会社A社の事例研究」

パネルディスカッション「非正規雇用をめぐる政策課題」

〈司 会〉

佐藤 博樹 東京大学社会科学研究所教授

〈パネリスト〉

- (1) 島貫 智行（一橋大学大学院商学研究科専任講師）「非正社員活用の多様化と均衡処遇——パートと契約社員の活用を中心に」
- (2) 原 ひろみ（労働政策研究・研修機構副主任研究員）「非正社員の企業内訓練についての分析」
- (3) 後藤 嘉代（労働調査協議会調査研究員）「非正規労働者の声を活かす——組織化の事例から」

- (4) 奥田 香子（近畿大学法科大学院教授）「非  
正規雇用をめぐる政策課題——労働法の視  
点から」

\*論文タイトル・所属は会議開催時のもの

2010年労働政策研究会議準備委員会

準備委員長	佐藤 博樹	東京大学社会科学研究所教授
準備委員	大内 伸哉	神戸大学大学院法学研究科教授
準備委員	神林 龍	一橋大学経済研究所准教授
準備委員	佐野 嘉秀	法政大学経営学部准教授
準備委員	中村 圭介	東京大学社会科学研究所教授
アドバイザー	仁田 道夫	日本労使関係研究協会会長